

## 医療・看護安全対策委員会情報（第19回）

### 人工呼吸器スイッチ忘れ患者死亡 看護師を書類送検！（毎日新聞7/21）

新人看護師はプリセプターから放れ、異動した看護師も職場になれた時期にインシデントの報告書が多いようです。事故が多発している与薬業務や人工呼吸器およびチューブ類の取り扱いなどについては、さまざまな患者や状況を想定した体験的学習法などを定期的に行い、適切な看護判断と併せた実践力を養っていく必要があります。

#### 【新人とベテランがエラーを起こしやすい理由】

新人の場合	ベテランの場合
<ul style="list-style-type: none"><li>①知覚情報の取捨選択がうまくいかない、知覚の感度が少ない</li><li>②記憶量が少なく、不確実なため円滑に引き出せない</li><li>③予測の幅が狭く、意思決定がなかなかできず、迷う</li><li>④外からの割り込みで全体の手順が乱れる</li><li>⑤手遅れ状態になってから気づく</li><li>⑥操作が遅れ、円滑さを欠いて慌てる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>①同じ仕事を繰り返しているため、型にはまり慣れすぎる</li><li>②内容とよく知っているため、憶測に走る</li><li>③苦勞せずに実施できるために、割り込みに弱い</li><li>④うまく実施できるために、うぬぼれが生じる誤っても気がつかない</li><li>⑤早くできるため、操作の抜けが生じる 不必要な仕事はやらないため、気配りが悪くなる</li><li>⑥体が覚えているため、うまく教えられる</li><li>⑦その仕事だけに興味があるため、視野狭窄になる</li></ul>

（石橋明：ヒューマンファクターとエラー対策、保健医療科学、51(4), 2002,P236-237 を一部改変）